

寒々にまげず 池開く

先日、かつて「常楽寺」に良く出入りして「常楽寺」を大変良く知って居られる方が久しぶりに来訪されました。

『すっかり変わりましたね、山門から寺に入らせて頂くと、本当に風格のある良い眺めになりましたね。庭もきれいになりました。』と、褒めておられました。

何年かぶりに「常楽寺」を訪れた方は、年々少しづつではありますが、変化し続けている寺の姿に驚かれます。『東国花の寺・常楽寺』として、四季折々に訪ねていただける寺として、少しでもきれいな寺にと、頑張ってきたからです。

今年は、例年に無く早めに、年内から花を付け始めた「カンアヤメ」が、寒さにも負けず盛んに花を咲かせています。五月頃に咲く「アヤメ」

ほど花の背丈は伸びませんが、花の姿はまさに「アヤメ」そのものです。寒さに負けず三月末頃まで花を付けつけ続けるその姿には胸を打たれます。『頑張っているね。』と声を掛けてやりたい思いすらします。

この寒さの中でも、多くの植物はもう春に向けて動き始めています。「シヤクヤク」は霜柱の立つ大地の中から、しもやけどもしたかのような赤いふくらとした芽を覗かせています。見ているとその痛々しさに、暖かい手を添えてやりたい思いすらします。「ロウバイ」も、寒風のなかで花を付けて早い春の訪れるを告げています。

この時期は、寒さに身をちぢめ、暖かな部屋にじっと閉じこもって居たい思いですが、寺の境内を巡ってみると、「スイセン」「ツバキ」「カンアヤメ」など、多くの花を楽しむことができます。



常楽寺節分会

二月三日(木)午後三時より
 本年の節分会は、二月三日の木曜日となります。

おでかけ
 くだいひん。

例年のように午後三時から常楽寺の本堂で行います。楽しい福引も準備しています。子どもさんと一緒に家族揃ってお出かけ下さい。また、節分札や厄除護摩札を申し込まれる方は、寺の役員さんか、常楽寺へお申し込みください。

上毛書道三十回記念展

会期 平成23年1月14日(金)~19日(水)
 午前10時~午後5時まで(最終日3時)
 会場 高崎シテイギャラリー
 今から三十年前、群馬の若手書道家達に発表の場を提供しようとして『新春上毛書道三十人展』が上毛新聞社主催で開催されました。その年々に若手書道家三十人が選ばれ、横幅約五メートルと言つ大変広い壁面が与えられ、それぞれが自由にその壁面を埋めるといふ、大変ユニークな作品展でした。私も、四十歳代後半から何回も出品させていただきました。その作品展も本年で第三十回という大きな節目を迎えました。今回は、『上毛書道三十回記念展』として、これまでこの作品展にかかわった百八十四人の作品が展示されます。一人一人の個性あふれる作品が展示されるスケールの大きな作品展です。是非皆さんも時間を見つけてお出掛け下さい。

節分守護札

1000円

厄除護摩札福升付

5000円

- 男子厄年 四歳 二十五歳 四十一歳 六十一歳
- 女子厄年 四歳 十九歳 三十三歳 三十七歳

六十一歳 常楽寺 Tel 三三三-0000